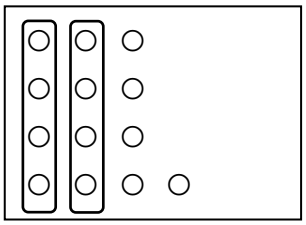
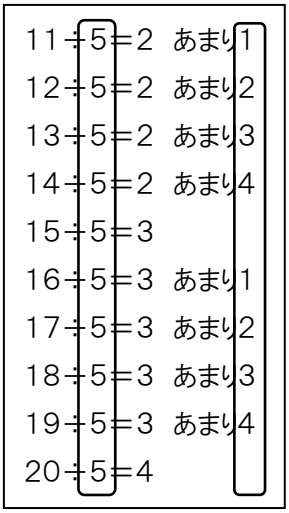
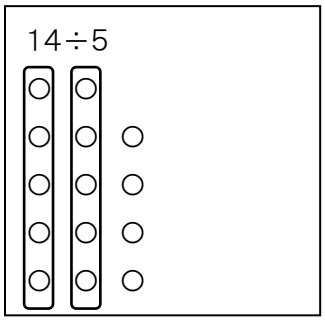
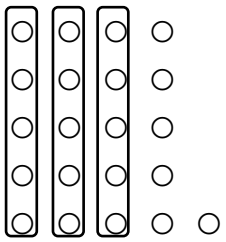
10 理想のシナリオと対象児童への手立て

理想のシナリオ	想定されるつまずき	つまずきに対する手立て
T　今日の問題です。読みましょう。 問題 あめが 13 こあります。1人に4こずつ分けると，何人に分けられて，何こあまりますか。		
T　式はどうなりますか。 C　13÷４になります。	・立式ができない。	・「分ける」ということに注目させ，わり算になることを理解させる。
T　先生，こう考えました。(13÷４＝２あまり５の考えと図を黒板に貼る。) C　違います。	・13÷4＝2あまり5が間違っていることに気付かない。	・あまり5こだと，まだもう一人に分けられることを，黒板にある丸図を使って発表させる。 
T　どこが違うのですか。図を使って説明してください。 C　(図を使って説明する。) C　まだ分けられるからです。		
T　13÷４＝２あまり５ではないのですね。それでは正しい答えをワークシートに書きましょう。 C　13÷４＝３あまり１で，答えは３人に分けられて，１こあまるになります。	・問題が解けない。	・一緒に4こずつ丸を囲み，あまりが3人に分けられて1こあまることを確認する。
T　では，あめの数を増やしてみましょう。ワークシートを開いてください。みんなで一緒に表を埋めていきましょう。13÷４は３あまり１でしたね。(表を埋めながら) T　あめの数が 14 このときはどうですか。 C　14÷４＝３あまり２になります。 T　(板書する。) T　あめの数が 15 このときはどうですか。 C　15÷４＝３あまり３になります。 T　(板書する。)		

T　あめの数が 16 このときはどうですか。 C　16÷４＝４になります。 T　(板書する。) T　この４つの式から何か気付くことはありますか。 C　余りが１・２・３となっています。順番になっています。余りが４だと思ったのに，余りなしになっています。 T　何かきまりがありそうですね。 T　では，今日の課題は「あまりの大きさにはどんなきまりがあるのだろう。」です。書きましょう。 C　(課題を書く。)	・16÷4＝3あまり4と答える。	・3あまり4とはどういうことなのかを図で説明させ，16÷4＝4であることに気付かせ，余りにはきまりがあるのではと思わせ，課題につなげる。
課題　あまりの大きさにはどんなきまりがあるのだろう。		
T　課題を読みましょう。 T　では 17÷４はどうなりますか。 C　17÷４＝４あまり１になります。 C　(18÷４から 20÷４まで計算する。) T　この表から余りの大きさので気付いたことはありますか。ワークシートに書きましょう。(机間指導) T　書いたことをペアで話しましょう。 T　余りの大きさのことで気付いたことを発表してください。 C　余りが１・２・３・余りなしとなっています。余りは３までになっています。 T　では，わる数が５になると，余りの大きさはどうなるのでしょう。ワークシートを裏返して	・何も気付かない。	・あまりに注目させるために，ワークシートのどこにあまりがあるか指をさし確認させる。

ください。（わる数が５の時の表を出す。）  		
Ｔ　あれ？余り４がありますよ。本当に余り４ですか。１４÷５を図で表しましょう。 Ｃ　（ワークシートの丸図を囲む。）	・ワークシートの図を囲めない。	・「わる5とはどういうことですか。」「何個ずつ囲んだらいいですか。」と問いかけながら一緒に囲む。
Ｔ　誰か前に来て図で説明してください。 Ｃ  今度は一人に５こずつ分けるので，５こずつ囲みます。すると，２人に分けられて，４こ余ります。		
Ｔ　本当ですね。わる数が５の時は，余り４があってもいいのですね。		
Ｔ　わる数が５の時は余りがいくつまででしたか。 Ｃ　４までです。	・余りの大きさの違いに気付くことができない。	・余りの大きさの違いに気付きやすくするために，表のわる数と余りに枠をし，焦点化する。
Ｔ　では，わる数が４の時は余りがいくつまでで		

したか。 C　３までです。 T　それでは，余りの大きさにはどんなきまりがあると言えますか。ワークシートのまとめのところに「あまりは，」の続きに「わる数」という言葉を使ってまとめてみましょう。 C　余りの大きさは，わる数と同じにはならない。余りはわる数より小さい。余りはわる数より小さくなる。 T　みんなの意見をまとめるとどうなりますか。 まとめ あまりは，わる数より小さい。	・きまりを見つけられない。	・わる数が4のときは，あまりが4より小さかったこと，わる数が5のときは，あまりが5より小さかったことを再確認し，わる数とあまりに注目させる。
T　それでは，このみんなが見つけた余りの大きさのきまりを使って問題を解いてみましょう。 問だい 21÷5＝3あまり6 この答えはまちがっています。理由を，きまりを使って書きましょう。 また正しい答えを書きましょう。 C　この計算のわる数とあまりの大きさを比べると，わる数５よりあまり６のほうが大きくなっているので，違います。 C　正しい答えは，21÷５＝４あまり１です。 T　今日の授業を振り返りましょう。 C　あまりの大きさはわる数より小さくなることが分かりました。 C　わる数が６より大きくなっても，あまりの大きさは，わる数より小さくなるか調べたいです。	・間違いが見つけられない。 ・説明が書けない。	・丸図があり穴埋めできるヒントカードを用意する。 ・九九表の5のだんから 21 に近い数を一緒に探す。 21÷5＝3あまり6  （わる数）より（あまり）のほうが大きいのでちがいます。 正しい答えは， 21÷5＝4あまり1です。